

**第110号**

石川県生活協同組合連合会

〒920-0362 金沢市古府2-189  
コープしかわ古府センター2F  
TEL.076-259-5962 FAX.076-259-5963  
<http://ishikenren.jp>発行日/2024年3月25日  
発行責任者/大谷 学**特集** 令和6年能登半島地震

## 石川県生協連会員生協の対応について

皆が笑顔になれる日を信じて、みんなで一歩ずつ

会長理事 大谷 学

1月1日に最大震度7となる「令和6年能登半島地震」が発生しました。犠牲となられた皆さまにお悔やみを申し上げるとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。この地震により、会員生協の役職員3名の尊い命を奪われ、会員生協とご家族など関係者の皆様には、言葉にできない悲しみに包まれたことと思います。心からご冥福をお祈りします。

県内全域で多くの方が被災し、特に能登地域で甚大な被害が発生しました。今も、余震、断水が続いており、不安な中での生活を余儀なくされています。地域の一員として被災地の復旧・復興をすすめ、一日も早く日常生活を取り戻すことをめざし、石川県生協連も会員生協の皆様、行政や地域の皆様と力を合わせて、支援活動に全力を挙げて取り組んでいきます。

この震災による会員生協の事業や活動、役職員の暮らしへの影響は計り知れません。この状況の中で各会員は、組合員の暮らしへの支援、職員の生活への支援、被災地域への支援など多岐にわたる取り組みをすすめています。しかしながら、私たちの力だけでは限界があり、地震発災直後より、日本生協連をはじめ全国の生協の皆様から職員の派遣などの支援をいただき、一緒に被災地の支援をすすめていることに、心から感謝申し上げる次第です。大震災という未曾有の事態に直面し、各会員生協に不安が広がる中で、全国の生協の皆様から「つながる力」「協同の力」をいただき、この災害に立ち向かっていく勇気が生まれています。

これから、息の長い取り組みを想定していますが、石川県生協連の会員そして全国の生協の皆様とのつながりを一層強めていくことが、組合員、役職員、地域に安心を育んでいくものと信じています。皆が笑顔になれる日が来ることを信じて、みんなで一歩ずつ歩んでいきましょう。

「一人は万人のために万人は一人のために」

## 特集 令和6年能登半島地震

### コープいしかわ

1月1日に災害対策本部を立ち上げて役職員の安否確認、日本生協連の支援を頂きながら自治体等への物資提供、事業継続に取り組んでいます。



のとセンターに届く全国の生協からの温かいメッセージ

1月6日より能登地域と内灘町の組合員約6,500名へ全国の生協からの応援者の力も借りて電話による安否確認をしました。道路状況の確認や組合員訪問などをして、のとセンターエリア（志賀町、七尾市、中能登町、羽咋市）では1月10日より、穴水町の一部では2月5日より

## 石川県生協連会員生協の対応について

宅配を再開しています。穴水町以北での配送再開に向けて、道路状況の確認をしながら再開希望の組合員へカタログの配布を進めています。

発災直後から組合員や職員に向けて全国の生協から多くの励みや支援を頂いています。1月15日からは全国の生協から毎週30名の職員にのりとセンターでの配送同乗をしていただき、のとセンター職員の元気にながっています。1月29日よりコープ共済加入組合員約2,500世帯へのお見舞い訪問を3週間で70名の応援をいただき進めています。



1月18日能登町へ支援物資をお届け

県や市町との災害時支援協定に基づいて、1月4日より物資の調達や提供、お届けを継続しています。1月下旬より小松市や野々市市の2次避難所へ毎日の朝食や夕食となるおにぎりやパン、弁当などをお届けしています。

組合員に向けても、支援募金や応援ボランティアの募集を呼びかけ、組合員講師による2次避難所での体操教室などを開催しています。

今後も、全国の生協と一緒に組合員や職員、地域の皆さまの声を聴き、応援していきます。（2月14日記）

（コープいしかわ 坂本 和代）

### コープ北陸事業連合

コープ北陸では1月2日午前10時に第1回目の対策会議を開催しました。

1月2日は地震の影響で北陸自動車道加賀ICから黒部ICまでが通行止めとなり、商品の入荷に支障がないか、週末から開始される商品の転送ができるかどうか大変懸念されましたが、結果としては、1月3日に北陸自動車道通行止めが解除され、

翌日にはのと里山海道柳田ICから上柵矢駄IC間の供用が開始され、のとセンターまでの転送ルート確保の見通しが立ちました。

コープ北陸では発災以降、行政から要請があった物資の調達、受注商品の調達にあたっています。地震の影響により、「防寒アルミボンチョ」や「非常用保温寝袋」「簡易（携行）トイレ」「防災食」の需要が急増し、受注数分の商品を確保することができず、被害の大きかったエリア（事業所）優先でお届けするなどの対応を実施しました。



津波によりアスファルトがめくりあがり流された能登町布浦地区



現場調査の様子

避難所以外への避難者も含めて多くの方が避難生活を余儀なくされています。1日でも早い復旧・復興に向け、これからも各団体と連携しながら支援にあたっていきます。

(コープ北陸事業連合 森田 満)

**石川県勤労者共済生協**  
こくみん共済coopは、被災組合員への迅速な共済金支払いを行うため、1月10日より災害対応動員を開始しました。全国の役職員による調査と共済金支払いを日々進めています。

現場調査においては、一日も早く



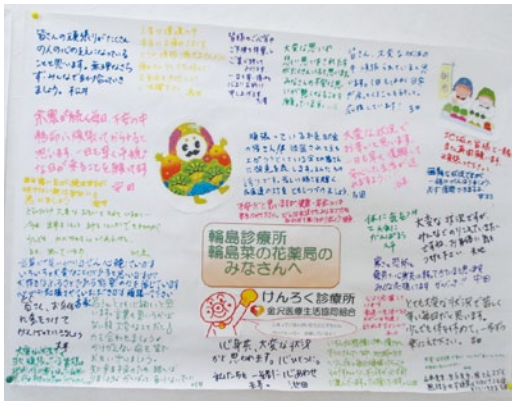
今後も日本各地で発生する地震や多発化・大規模化している自然災害に対し、最適な保障の提案とともに、被害に遭われた組合員に寄り添い、丁寧な対応に努めてまいります

(石川県勤労者共済生協 赤松 智代)



被害箇所の確認

共済金をお届けするため、様々な工夫を図りながら精力的に活動しています。



輪島の事業所にメッセージ

**金沢医療生協**

1月1日には、石川県民医連では対策本部を設置、石川県生協連でも対策本部を立ち上げ、ともに災害支援チームが参加しました。医療・介護従事者としてできること、1月3日の当番医対応、4日から介護事業の開始に向けて、片付けと安否確認を行いました。今回の地震で、避難中の方、自宅損壊の方など多数おられます。被害が大きかった輪島診療所の職員に休憩と事業継続支援に、



鈴見台地域の状況

石川・全国から医師・看護師・薬剤師・心理職・事務などの派遣を行っています。

また、田上・鈴見台地域の組合員さん訪問では、崖崩れ、断水で避難所生活をされた方、家の中の段差で引越し、家の前の道路が陥没している所が多くありました。塀や玄関のひび割れなどもあり、罹災証明書を提出した方、まだの方については手続きの説明など行ってきました。

自治体への要望は、避難所生活の整備と避難所の確認です。

(金沢医療生協 専務理事 柴原ひろみ)

特集

令和6年能登半島地震

石川県生協連生協の対応について

## 石川県学校生協

令和6年能登半島地震は現在も余震が続いており予断を許さない状況ですが、人的支援活動や復旧作業がおこなわれています。中能登地区におけるフレッシュ配送はほぼ再開しています。奥能登地区は車両の通行規制がある上に避難所となっている学校への配達や、ご自宅が被災されている組合員への個配が困難な状況です。

学校生協には、小中学生の避難の受け入れ学校から学用品の提供要望があり、無償でお届けしています。

地震の影響で休校していた学校は2月6日に再開はしましたが、被災前とは程遠い授業内容だそうです。



フレッシュ商品を学校にお届けする様子



七尾市 中学校校舎前の被災状況

その他の支援については学校の受け入れが整い次第、対応していきたいと考えています。

（石川県学校生協

専務理事 中多 晃）

## 金沢大学生協

金大生協の正規職員、パート、アルバイト職員等は、安否確認の結果、幸い全員無事でした。

店舗状況確認を1月2日(火)に実施し、電気、水道、ガス関係での異常は見つかりませんでした。各店商品、貯蔵品等の落下があり、特に宝町の医学購買の書籍等の落下はひどく、ほぼ柵から抜け落ちていた状況でした。医学食堂も、店舗入口自

動ドア外側のアルミ枠が外れた状態となっていました。

金大生協の子会社(株)コープ総合リビング石川(以下子会社)が学生居住の物件を管理しているため、1月4日(木)、5日(金)に外観点検を実施し、状況を各オーナーへ連絡しました。また、入居者の所在確認と室内被害状況確認のため入力用のフォームを金大生協ウェブサイトで案内・設置(1月4日(木)〜)し、入居者に、メール・入居者アプリ・電話かけにより、入力を案内しました。ライフライン関係などの緊急性が高いものを優先に、現地確認、オーナー連絡、修繕手配を実施しました。緊急性が高くないものについても、順次、入居者と連絡をとり、現地確認を実施、オーナーに報告し、修繕が必要なものには手配をかけています。

大学の授業が原則遠隔授業に変更され、対面授業は1月15日(月)からとなったため、1月5日(金)に購買、食堂の営業時間を変更し、組合員に金大生協ウェブサイトで案内しました。

1月15日(月)以降は授業も対面授業となり、通常の状態に戻り、その後生協の施設において地震による不



宝町キャンパス医学類購買

具合等はなく、現在に至っています。ただ、子会社による入居者との、未連絡者連絡や部屋の修繕等は、現在も対応中です。

今回の地震で金大生協として、備えが十分ではないことを痛感しました。被災時での食事等の提供ができるか、そもそも食材や商品の調達が可能か、厨房や店舗の柵や機器類の耐震など、多くの課題があることを再認識しました。また、管理している物件において、入居者の安全確保、建物の異常対応等の対応についても同様です。今後、大学とも協議し役割分担を明確にしながら、今回明らかになった課題について早急に取り組みを進めたいと考えています。

（金沢大学生協

専務理事 坂口 辰彦）

石川工業高等専門学校生協

今回の能登半島地震により、石川高専では大きな被害を受けることになりました。生協の入る「養高館」という学内福利施設自体の大きな損傷はなかったものの、周辺のアスファルトや広場等が、液状化現象により盛り上がり、震災当日から2週間ほどは車両が建物に近づくことが



養高館前のアスファルト



グラウンド内に土砂崩れ

できない状態でした。

昨年学校と締結した「災害時における相互協力に関する協定」のもと、当日数名滞在していた寮生への物資提供依頼を受け、翌日2日の午前中に店内にあるドリンクや食料品を提供しました。こちらについてはその後もう1回提供を行いました。生協職員7名の安否確認ができ、家屋も含め無事を確認できました。

学校は当初連休明けの9日(火)から授業開始でしたが、対面での通常授業は1週間遅れの15日(月)からとなり、その間は遠隔と対面の授業をハイブリッドで行う形となりました。

生協の営業は食堂・購買ともに2月15日より営業再開ができ、登校した一部の学生、教職員への提供を開始し、現在に至っておりますが、お陰様で営業については現在も大きな問題もなく運営ができています。

(石川高専生協 谷口 修)

大学生協事業連合関西北陸地区

大学生協連と連携して、発生当日から情報収集・分析と必要な対応・情報共有を行ってきています。

- 1. 会員生協の被災状況について
- ①店舗被害は、多くの生協が商品落下等の軽微なものにとどまりました。
- ・一部ガス管損傷による営業開始遅延(石川高専)、店舗設備破損(金沢大)、建物設備等のひび割れ(富山大、新潟大、新潟県立大)が発生。
- ・液状化現象による影響は広範囲

に見られた(石川高専、新潟大等)

- ②役職員の被災状況については、石川高専生協 教員監事1名の死亡が確認されました。
- ・震災直後の避難、役職員住居の被災は多く発生。
- 2. 学生生活における影響について
- ①震災直後より一人暮らし関連の問い合わせ等が多発、随時対応を進めています。
- ・震災日が元旦だったため、帰省後に住居に戻り異常を確認する事例が多数。

(大学生協事業連合 長島 安永)

激甚災害支援・防災ニュース

能登半島地震に関する動き

～SNS発信(関西北陸ブロック学生事務局)編～

はじめに 日本生協連を通しての緊急募金活動に取り組んでいます

SNS発信 募金をする際に「見るべき」ポイントを紹介！

SNS発信 防災バッグを作ってみよう

能登半島地震に関する動き

～SNS発信(関西北陸ブロック学生事務局)編～

# 2023年 協同組合学習交流会

●日時 2023年11月13日(月)  
●会場 石川県農業会館6階大ホール

J A、漁協、森連、生協の協同組合から57名が参加し、協同組合間連携を目的に学習交流会を開催しました。日本協同組合連携機構常務理事 伊藤治郎氏を講師に「協同組合のアイデンティティについて考える」をテーマに学習しました。



講師の伊藤常務理事

講演を受けてワークショップでは、今の「協同組合アイデンティティを見てどんな風を感じるか?」「これからの協同組合、こうだったらいいな」について話し合い、グループごとのまとめを行いました。



実践報告の様子

また、4つの協同組合から実践報告が行われました。

〈参加者アンケートより〉

- ・協同組合間でつながりを持ってたら、おもしろいなと思った。(漁協参加者)
- ・新人研修など他協同組合と連携した事業ができると良いと思った。(森林組合員参加者)
- ・他事業の組合について知る機会があまりなかったので、大変貴重な場となった。(生協参加者)
- ・他組合について興味深い話も多く、持ち帰るものも多く感じた。有意義だった。(J A参加者)



# 第53回 石川県消費者大会

●日時 2023年11月10日(金)  
●会場 石川県地場産業振興センター及びオンライン  
●テーマ 「健康食品・サプリを考える」  
●主催 石川県消費者大会実行委員会

「二七科学視点から健康食品・サプリを考える」をテーマに東京大学非常勤講師 左巻健男氏から講演いただきました。



講師の左巻氏

左巻氏は「二七科学に騙されない!」二七科学を見抜くセンスを持つには、「たった一つのもので、あらゆる病気が治ったり、健康になつたりする万能なものはない」ということを知って欲しい。「お金がかかる」のはおかしい。医薬

品は膨大な労力・研究費が掛かるので高額になるが、サプリ等ではお金がかからない。ネットや本でまともな情報を調べてみる事が重要である。」と話されました。

県内団体からは、消費者支援ネットワークいしかわ 副理事長 村上裕氏より、定期購入トラブルについて報告がされました。



会場で81名、オンラインで23名が参加

# 第64回 石川県防災総合訓練に参加

● 日 時 2023年11月12日(日)  
● 開催場所 能登町一円

石川県防災総合訓練は、11日(土)午前8時30分頃、能登半島東方沖を震源とする地震が発生し、能登町で震度6強の地震が発生したという想定で行われました。

消防や自衛隊など約103の関係機関と住民合わせて16,065人ほどが参加しました。

石川県生協連では、コープいしかわ、石川県勤労者共済生協とともに、



物資輸送車両

救援物資陸上輸送訓練、子ども防災体験に参加しました。

### ○ 救援物資陸上輸送訓練

能登空港広域物資輸送拠点から物資(飲料水)を能登高校第2体育館まで届けました。



避難所での物資の受け渡し

### 【輸送訓練に参加して】

(コープいしかわ 岡本 貞孝)  
・災害発生時の役割確認及び行動のイメージができた。

・現地までの輸送ルートについて、いくつかあるルートから災害発生時にどういった情報からどう判断してルートを選択するのが課題と感じた。(通行止めの有無、最短时间内の優先有無)

### ○ 子ども防災体験

能登高校体育館で「災害体験VRゴーグル」「親子で学べる防災クイズ」の実施と「紙ぶるる」の展示を行いました。

### 【子ども防災体験を実施して】

(共済生協 赤松 智代)  
VRゴーグルは火事、地震、水害を疑似体験できるもので、思わず声を疑似体験できるもので、思わず声



VRゴーグル体験



防災クイズに挑戦する中学生

が出るほどのリアルな状態を中学生以上が体験しました。

防災クイズは小中学生が楽しみながら地震の知識を学びました。

紙ぶるるは紙で家の模型を作り「筋交い」の有り無しで、地震があったときに建物がどれくらい揺れるかを比較して学ぶことができる模型です。

近年大災害が多発し、防災について関心が高まっています。今回のクイズやVRゴーグルを通して子どもたちが正しい知識を学び、家族みんなで万一の場合に備えるきっかけになってほしいと感じました。

## 県生協連活動日誌

- 12 ● 12月 1日 JA石川県中央会 国消国産シンポジウム  
▶石川県地場産業振興センター
- 12月 4日 令和5年度 食の安全・安心の確保に関する  
講演会・意見交換会  
▶石川県庁会議室
- 12月 6日 いしかわフードバンク・ネット第4回理事会  
▶石川県社会福祉協議会
- 12月 7日 第3回三役会▶古府センター会議室
- 12月 8日 2023年度 第2回東海北陸県連協議会  
▶石川四高記念文化交流館
- 12月15日 2023年度 生協連図上型防災訓練  
▶Web会議
- 12月18日 労福協第6回理事会、懇親会  
▶ANAホリデイイン金沢スカイ
- 12月19日 石川県ユニセフ協会第2回理事会  
▶石川県地場産業振興センター
- 12月21日 消費者支援ネットワークいしかわ第3回消費者部会  
▶石川県女性センター
- 1 ● 1月 1日 令和6年能登半島地震発生
- 1月 5日 連合石川・労福協合同「2023新春の集い」  
\*中止
- 1月 9日 年始挨拶回り▶石川県知事、漁協 \*中止
- 1月10日 年始挨拶回り▶北陸農政局、JA中央会 \*中止
- 1月10日 消費者支援ネットワークいしかわ第6回理事会  
▶金沢市長土堀青少年センター
- 1月11~12日 全国方針検討集会▶Web会議 欠席
- 1月11日 日本生協連賀詞交歓会▶東京 欠席
- 1月15日 第4回石川県消費者大会実行委員会  
▶Web会議
- 1月16日 第5回企画運営委員会▶Web会議 \*中止
- 1月18日 第95回メーデー第1回実行委員会  
▶フレンドパーク石川 欠席
- 1月18日 年始挨拶回り▶金沢市長 \*中止
- 1月19日 第3回広報委員会▶Web会議
- 1月19日 年始挨拶回り▶森連 \*中止
- 1月22日 生協連第5回理事会▶Web会議
- 1月22日 「コープ被災地支援センター」設置
- 1月22日 生協連行政懇談会 \*中止
- 1月24日 協同組合学習交流会第5回準備会 \*中止
- 1月25日 関西地連第4回運営委員会・県連活動推進会議  
▶Web会議
- 2 ● 2月 1日 金沢市令和5年度 第2回食の安全・安心委員会  
▶金沢市保健所
- 2月 6日 第4回三役会▶Web会議 \*延期
- 2月 7日 第2回役員研修会▶Web研修 \*中止
- 2月22日 消費者支援ネットワークいしかわ第4回消費者部会  
▶金沢市女性センター
- 2月26日 第2回石川県食の安全安心対策懇話会  
▶書面開催
- 2月29日 労福協第7回理事会▶フレンドパーク石川
- 3 ● 3月 1日 第4回三役会▶Web会議
- 3月 6日 第6回理事会▶Web会議
- 3月12日 第5回企画運営委員会▶書面開催
- 3月14日 消費者支援ネットワークいしかわ第7回理事会  
▶金沢市長土堀青少年センター
- 3月29日 日本生協連総会議案検討会議▶Web会議

## 私のおススメの一冊

## 『ハウ・トゥー』

早川書房  
ランドール・マンロー 著  
吉田三知世 訳



この本は以前、テレビ番組でタレントのカズレーザーさんが紹介した一冊です。

私はほとんど本を読みませんが、こういった類のものであれば興味がありますので、すぐに本屋さんへ行き購入しました。

内容は「ジャンプして成層圏にたどり着くには？」とか「鍵盤がいくつあれば、ピアノで超音波を出せる？」など実に無茶なことをNASA出身の著者が科学の知識に基づき、ユーモアたっぷりに書かれています。

またこの本の挿絵が絶妙なバランスなのです。このような「ホントにくだらしない」とか「バカバカしく役に立たない」けれども、そこに真剣に取り組み答えを見出す、そんな内容の本がつまらないわけがありません。

シリーズとして他に3種類出ています。大笑いすること間違いなしです。

石川県学校生協 宮田 正武

## 編集後記

令和6年能登半島地震発生から3ヶ月が経とうとしています。一日も早く被災された皆さまが日常の暮らしを取り戻すことができるように、1月22日に日本生協連より全面的な支援を受け「コープ被災地支援センター」を立ち上げ、全国の仲間と共に被災地のニーズに寄り添った支援に取り組んでいます。

引き続き全国の生協の仲間や行政、地域の諸団体と連携・協同して、会員生協とともに安心して暮らせる地域社会づくりの一翼を担い貢献していきたいと思っております。

助け合いの組織である生協として力を合わせ、よりよい生活と安心して暮らせる社会の実現に向けて、ともに奮闘してまいります。

専務理事 浅田 晋一